

ダブルケア（育児・障がい・介護）を支援者や職場が支えるために ～ダブル・トリプルケアから考える多・他職種連携、包括的ケア、 地域共生社会～

1. 趣 旨

世界トップで高齢化が進行する日本では、晩婚化、少子化が同時進行し、子育てと介護、障がい児者と介護を同時に担う方が増えています。

しかしながら、子育て、障がい児者支援、介護は別々に制度設計されたために、横断的支援が難しく、さらに子育てと高齢者を抱える方自身がダブルケアに気づかないといったこともあり、職場や支援者がダブルケアの対応に苦慮する現状があります。また、家族等の介護が必要になった方が誰にも相談できずに、仕事を辞めて、生活困窮に陥るなどの課題もあります。

そこで、ダブルケアラーの背景と現状を理解・整理し、支援者等がダブルケアラーにどのようにアプローチし、課題を明確化して、子育て、障がい、介護にかかわらず多・他職種連携を図り、支援していくことが求められます。

そして、ダブルケアラーを支援する多・他機関連携から、働きやすい職場づくり、地域包括ケア、地域共生社会を考えます。

2. 主 催 社会福祉法人 福島県社会福祉協議会

3. 日 時 令和6年2月8日（木） 9：00～12：15

4. 実施方法 Z o o m（オンライン）

5. 定 員 100名

6. 参加費 無 料

7. 参加対象者

子育て、障がい児者支援、介護に興味がある方、民生・児童委員、教育関係者、放課後児童クラブ、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、障がい児者相談支援事業所、福祉施設、市町村社会福祉協議会、市町村行政の職員

8. 参加申し込み方法

別紙参加申込書をメールにて1月26日（金）までに送付ください。申込受理後3日以内に、参加決定した旨のメールを送付いたします。

また、当日使用する資料・アンケート等を、参加申込書記載のメールアドレスにデータで送付しますので、各自印刷して準備をお願いいたします。

参加申込書様式はこちらからダウンロードできます。

福島県社会福祉協議会ホームページ→研修・講座・資格→県民介護講座の案内

9. 問い合わせ・申込先

社会福祉法人 福島県社会福祉協議会 人材研修課（介護実習・普及センター）

〒964 - 0904 二本松市郭内1丁目196 - 1（福島県男女共生センター5階）

TEL 0243 - 23 - 8306 / FAX 0243 - 62-4633※日・祝祭日・休館日（月曜日）は休みとなります。

メール kaigo@fukushimakenshakyō.or.jp

10. 個人情報の取扱について

本セミナーにおいて受講申込書に記載された個人情報は運営に関する目的にのみ利用します。

11. 留意事項

- (1) 1つのパソコン等で複数参加することも可能ですが、参加者の把握のため、氏名等報告してください。
- (2) 地震や台風により中止や延期とする場合がありますので予めご了承ください。なお、中止等の決定は福島県社会福祉協議会ホームページ (<https://www.fukushimakenshakyō.or.jp/>)でお知らせしますのでご確認ください。

12. プログラム

時 間	内 容・講 師
8:30~9:00	入場・入室時間
9:00~9:05	開会・オリエンテーション
9:05~10:35 (90分)	【基調講演】 「ダブルケアの現状と課題、そして垣根を越えた多・他職種連携から考える地域共生社会へ」 横浜国立大学 教授 相馬直子 氏
10:35~10:45	【休憩】
10:45~12:15 (90分)	【リレートーク】 発表者 「子どもと障がい児者を抱える世帯支援」 はまどおり大学はまどおりサポートちるどれん 事業長 田子恵子 氏 「子育てと高齢者を抱える世帯支援」 伊達市保原地域包括支援センター 所長 森美樹 氏 「法人・施設として、ダブルケア等を抱える職員の支援の現状と課題」 社会福祉法人安積福祉会 特別養護老人ホーム カーサ・ミッレ 施設長 中原孝志 氏 助言者 横浜国立大学 教授 相馬直子 氏
12:15	閉 会